

大分市立津留小学校 学校便り

令和7年12月 学校長 三浦順由

今年も残すところあとわずかです。2学期もお世話になりました。

明日からの冬休みを前に、登校してくる子どもたちの表情は、心なしかうきうきした気分のように見えます。やっと12月らしい寒さがやってきました。子どもたちは寒さを吹き飛ばすかのような元気な挨拶をしてくれています。今年の2学期は、復活開校70周年を迎える年で様々な学校行事が行われました。70周年の節目のこれらの行事を通して子どもたちは豊かに成長してくれているものと思います。感慨深い2学期でありました。保護者の皆様をはじめ地域の皆様ご支援ご協力をありがとうございました。よいお年をお過ごしください。

児童集会(チャレンジ集会)。学校が歓声にあふれました。

インフルエンザの流行により延期していたチャレンジ集会が12月17日(水)に行われました。このチャレンジ集会は、縦割り班でコーナーを作り様々な種目にチャレンジするものです。

どのコーナーも会場の配置などよく工夫されていて楽しく挑戦させもらいました。この日を迎えるまで、6年生中心に縦割り班の時間を使って役割分担やりハーサルを行ってきました。この活動を通して、縦割り班の他学年同士の交流を深めることでより仲良くなり、友だちのよさや自分のよさを改めて再確認していったことだと思います。高学年にとっては大変な企画ですが、全校の機関車として頑張ってくれました。全校中が笑い歓声に包まれたとてもいい時間が過ごせました。

大合唱につつまれた人権集会。

本校では、人権週間の取組としてハッピースター強化月間、ぽかぽかビンゴなどに取り組んだり、12月5日の人権集会を開催したりしています。

人権集会では、ぽかぽか言葉とちくちく言葉の劇やハッピーカードの紹介が行われました。また、「今月の歌(津留小物語)」の大合唱に会場が包まれました。津留小物語は、復活開校50周年の時に平和への願いを込めて当時の教師が作った曲です。久しぶりの披露となりました。人権が大切にされる平和な社会を想像しながら歌いました。これらの活動を通して、自分たちの生活を振り返るとともに、自分も相手も大切にすることを学びました。

復活開校70周年の記念集会を実施しました。

今年度、津留小学校は復活開校70周年を迎えました。70年の歴史を振り返ると共に、新しい時代を切り開く子どもたちの輝かしい未来を祈念して、記念集会を催しました。

授業参観では、1・2年生は、保護者との交流・3・4年生は、地域の人たちとの交流5・6年生は、キャリア教育を中心とした仕事を通じた人との交流を中心に授業参観を行いました。記念集会では、集会に先立ち甚吉クラブの方々を中心にオープニングを行いました。集会では、1期生2期生の方による座談会を行いました。座談会の中での「地域の友達を大切にしてほしい。いずれ地域に帰るのだから」という言葉が印象に残りました。津留小学校に歴史に触れるとともにこれからの津留地区に対する願いを聞くことができました。そして3・4時間目には「ミニまつりつる」を行いました。遊びを中心とした各コーナーを実施しました。地域の方やPTAの方々の支援により楽しいひと時を過ごすことができました。ありがとうございました。